

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	鳥取市生涯学習推進講座 麒麟のまちアカデミー開設費	尚徳大学、教養コース・技能コース、ファブラボとっとり等で提供する様々な生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして集約し、子どもから高齢者まで切れ目ない多様な学びの場を提供する。	本市の生涯学習の拠点である文化センターを拠点に既存の各種生涯学習講座を一体的に運営 ・尚徳大学 ・教養コース・技能コース ・ファブラボと通りの運営 ・アドバイザー派遣事業	麒麟のまちアカデミー尚徳大学、教養コース・技能コース、ファブラボとっとり等で提供する様々な生涯学習講座を麒麟のまちアカデミーとして集約し、子どもから高齢者まで切れ目ない多様な学びの場を提供し、生涯学習の推進に貢献した。	今後も麒麟のまち圏域で情報共有しながら、圏域全体の生涯学習の活性化を推進する。圏域内の人の参加を促進させるために、オンラインによる配信等を検討し、実施していく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	318
2	○	子育てネットワーク推進事業費	地域における家庭教育支援ネットワークの構築を支援するため、幼稚園、小学校、地区公民館で開催される「子育て・親育ち講座」等を実施する。	小学校・義務教育学校 43校	全小学校・義務教育学校で実施した。「家庭と学校との役割」や「入学までに大切なこと」について具体的に話すことで、保護者に安心感と子育てに係る振り返りを促し、家庭教育力向上に貢献した。	講座申込について、より多くの方に参加していただけるよう、効果的な周知を図り、保育園、小学校・義務教育学校で行っている支援を、地域の子育てサークルにも広げて事業を展開していく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	319
3	○	若者応援プロジェクト事業費	新成人を対象とし、故郷の魅力を再発見したり、大人としての自覚を促す企画を実施する。 ・鳥取市にゆかりのある20歳を対象にした祝賀イベントを実施し、鳥取市に集う機会を提供する。	・18歳を対象に、新成人になるにあたっての啓発（ホームページでの啓発とチラシ郵送）と、モザイクアートを制作した。モザイクアートを制作するにあたり、画像を送っていたいただいた方を対象に、抽選で鳥取の特産品を発送した。 ・令和6年1月3日に、とりぎん文化会館で「令和6年鳥取市はたちのつどい」を実施した。 参加人数：1,515人	若者向けの事業を行うことで、ふるさとの鳥取市を誇りに思い、また帰ってきたいと思う機運を造成した。	今後も、鳥取市に誇りや魅力を感じ、県外に出て帰ってきたくするような機運を作れるよう、事業を実施していく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	319
4	○	地区公民館事業費	全61地区（全62地区公民館）において、生涯学習事業を実施し、社会教育によるまちづくりと地域の活性化につなげる。	・地区公民館 49館 ・一括交付金 13館	一括交付金実施地域が増加し、まちづくり協議会が主体となって学びの成果を生かした地域課題解決事業に取り組む、生涯学習による地域づくりが促進されつつあり、地域の活性化に貢献している。	将来の地域づくりや現状の身近な地域課題の解決に向けた取り組み、防災学習・人権学習などに、学んだ成果を生かすことができる生涯学習社会の実現を目指す。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	320
5	○	地域学校協働活動推進事業費	モデル地区に地域学校協働活動推進員を配置し、地域全体で子どもたちの成長を支える地域と学校の連携協働体制の整備を推進する。	・地域学校協働活動推進員の配置数 17地区	地域の方が気軽に学校に来ていただけるような工夫がみられるようになり、さらに、地域と学校の協働活動を通じて、子どもと地域、学校の先生が顔見知りになり、子どもの地域内でのコミュニケーション能力が向上したり、学校と地域がお互いに対等な立場で事業が進められるようになるなど、地域教育力向上と地域活性化（学校を核とした地域づくり）に貢献している。	事業実施地区での成果を未実施地区と共有することや市HPに公開するなどにより、事業への参入を促進する環境を作る。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	320
6	○	さじアストロパーク企画イベント等事業費	さじアストロパークを活用し、イベント等を開催する。	・アストロパーク3大祭り(星、月、雪)の開催 ・プラネタリウム独自開発番組の制作	アストロパーク3大祭りの開催やプラネタリウムの独自開発番組の製作を実施し、施設の利用者増加促進、地域資源である星と宇宙を生かした学習の促進に貢献した。しかし、新型コロナウイルスの影響や、8月の台風による災害の影響（道路状況の悪化）で規模縮小となったイベントもある。	今後も継続してイベント事業を実施し、星、月、雪といった季節や地域の特色を生かした事業を実施していく。誰でも気軽にいただける施設であることを再認識していただくよう宣伝活動にも力を入れる。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	322
7		地域社会教育活動総合事業費	子どもから大人まで市民の読書活動を推進するため、絵本の読み聞かせや各種講演会の開催、読書ボランティアの育成等を行う。	・子どもの読書活動の推進に係る事業の実施 ・読書ボランティア養成講座の実施 ・郷土に関する事業の実施 ・市民との協働による事業の実施 ・こども食堂への配本	令和5年度において、市民一人当たりの図書貸出冊数は4.3冊となった。過去3年の実績（令和2年度は3.7冊、令和3年度は4.2冊、令和4年度は3.9冊）と同水準を保っており、市民の読書活動を支えることができた。	すべての市民の読書活動を推進するため、引き続き取り組みを継続する。	教育委員会事務局	中央図書館	330

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
8	○	図書館情報管理システム処理費	電子図書館により、365日24時間、いつでもどこにいても、読書環境に障がいを感じている人（高齢者や障がい者等）も、インターネットを通じて電子書籍の貸出、返却ができる環境を拡充します。	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館における電子書籍のコンテンツ購入 579コンテンツ（年度末貸出可能コンテンツ9,363点） サビエ図書館への加入 	「鳥取市電子図書館」を運用し、365日24時間、いつでも、どこにいても、インターネットを通じて電子書籍の貸出、返却ができるなど、読書環境の充実が図られ、市民の読書活動を支えることができた。また、電子書籍を図書館情報管理システムにデータ登録し、視覚障がい者の方などが検索しやすくなるようにするなど、読書バリアフリーに取り組んだ。	今後も継続して、電子書籍を拡充するとともに、読書環境に障がいを感じている人（高齢者や障がい者等）などへの広報を積極的に行う。	教育委員会事務局	中央図書館	331